

りんごの新規摘花剤「ギ酸カルシウム水溶剤」

ギ酸カルシウム水溶剤(商品名:エコルーキー)は満開日等に100~150倍で処理することにより高い摘花効果が得られ、訪花昆虫に対する影響の少ない摘花剤です。

効果

1. ギ酸カルシウム水溶剤は100~150倍散布で石灰硫黄合剤に近い摘花効果が得られます。
2. ギ酸カルシウムの散布による果実への影響は認められません。

使用方法

1. 1回目は満開日(中心花満開2~3日後)に、追加散布を要する場合は1回目散布2~3日後に、100~150倍、単用で散布します。
2. 立ち木全面散布とし、スピードスプレーヤーまたは動力噴霧器を利用します。スピードスプレーヤーを利用する際はファンを低回転にするか停止します。

表1 ふじに対する摘花効果(結実率、%)

年度	区名	頂芽		腋芽		散布時期	
		中心花	側花	花そう	全花	1回目	2回目
2002	ギ酸カルシウム×100倍	90.7NS	38.1b	89.8NS	58.8NS	中心花満開2日後	1回目散布2日後
	CaSx×100倍	94.7	15.9a	86.4	53.2		
	Cont	100.0	93.9c	95.4	75.5		
2003	ギ酸カルシウム×100倍	93.3ab	56.9a	88.0ab	46.2ab	中心花満開2日後	1回目散布5日後
	〃 ×150倍	94.7ab	76.9ab	98.0c	54.7b		
	CaSx×100倍	89.3ab	53.2a	80.2ab	35.9a		
	Cont	100.0b	90.9b	96.0bc	81.2c		
2004	ギ酸カルシウム×100倍	93.1b	60.8NS	61.1b	18.6ab	中心花満開1日後	1回目散布2日後
	〃 ×150倍	86.4ab	49.6	60.4b	26.3b		
	CaSx×100倍	78.9ab	48.8	30.7a	8.9a		
	Cont	97.3b	62.6	71.2b	27.7b		

異符号はチューキーの多重検定で5%水準で有意差有り。NSは有意差なし。

試験圃場:岩手県農業研究センター

表2 農薬使用基準

作物名	使用目的	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	ギ酸カルシウムを含む農薬の総使用回数
りんご	摘花	100~150倍	300~600L/10a	満開日、追加散布を要する場合は2~3日後に1回	2回以内	立木全面散布	2回以内